

平成30年 月 命をかけて日本を守ってくれる有難い人がある。

佐藤正久氏講演会

参議院議員外務副大臣・イラク派遣の自衛隊、ヒゲの隊長として、国民に知られる佐藤正久氏を足立区庁舎ホールに迎えて自衛隊のあり方、憲法問題等幅広く、諸問題について講演を行った。

海を守り国を守る

南シナ海を自国領にしようとする中国の野望、台湾やフィリピン、マレーシア、ベトナムに至る重要な南シナ海を中国は自国領と主張して、埋立て、軍事基地の建設等を行い、人を住まわせ、圧倒的な軍事力で、各国を黙らせ、金銭で懐柔して、我がものの顔で支配している。これにより中国の潜水艦の聖域となり世界の脅威となりつつあります。アメリカも黙ってこれを見ているのではなく、航行の自由作戦等やりませんが、中国のしたたかな戦略にどこまで対抗するか。

中国のいう二つの大国

中国はアメリカと太平洋を二つに分けて、統治しようとする案を提議しています。日本も含めて、アジアは中国のものという考えです。だから沖縄も尖閣も自分の領土だと言っている。領海、領空、侵犯を毎日のように行っているのです。これに対する自衛隊や海上保安庁のスクランブル、排除行動は、異状な回数に達しています。中国は「国境は国力に依りて変化する」と言っている。中国は「国す。中国共産党の一党独裁体制はこれから武力外交です。」

佐藤氏憲法を語る

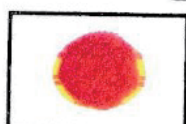
自衛隊を憲法違反だと言う人がいる。これだけ、国を守る事に誇りを持つて働く自衛隊員を傷つけているのか、国を守る力と人がいなければ、国は滅びる事を知っている人々が、自衛隊に反対するのをい続ける人々が、憲法改正に反対するのは残念だ。しっかりと子孫のために日本を残す事の重要さを分かった人達と、本當の憲法論議をしてまいりたい。更に使命感を持ってもらおう、日本を守る覚悟を隊員に持つてほしいと熱弁をふるう、佐藤氏目録取りで会場が湧いた一夜であった。



政務活動

せぬま 剛 後援会

足立区千住宮元町10-1



祝日には国旗を掲げよう

国旗販布・取付お申込みはせぬま 剛へ

私達が住む日本 あなたはどう感じていますか 世界190カ国

国連の主観的幸福度	人的資本指標日本の位置	地震発生数日本
1位 フィンランド	教育 28位	身体に感じない
7位 カナダ	健康 10位	地震 1日 約300回 (世界の10%)
15位 ドイツ	労働 11位	マグニチュード6クラス 世界の20%
18位 米国	制度インフラ	日本の妊娠中絶
19位 英国	環境 13位	年間 17万8千人
23位 フランス	総合 15位	1日あたり50人
47位 イタリア		
54位 日本		
世界人口1人あたりGDP	認知症高齢者 2026年700万人突破	日本近隣の 軍事力
1位 カタール	介護医療費 2015年 119.8兆円	自衛隊 24.7万人
4位 シンガポール	2020年 134.4兆円	在日米軍 4万人
11位 スイス	2025年 148.9兆円	韓国軍 62.5万人
13位 アメリカ	日本総人口	在韓米軍 2.9万人
19位 ドイツ	2017年 1億2653万人	北朝鮮軍 128万人
22位 台湾	2065年 8808万人	核兵器 10~20発 弾道ミサイル 700~1000発
27位 イギリス	2118年 5060万人	中国軍 203.5万人
28位 フランス	2218年 1380万人	核兵器 270発 弾道ミサイル 1275~1600基
29位 フィンランド	3000年 2000人	極東ロシア軍 8万人
30位 日本		核兵器 7000発
どう生きる、何に貢献出来るか、私達日本人		

せぬま 剛 政務調査活動 090-4073-5145

自分の分をわきまえる、ちようどいい精神大事だね
せぬま 剛

六十四番歌 権中納言定頼

藤原定頼という、六十番歌で、小式部内侍にふられた人、彼女が母に作ってもらっていたのではと軽く言ってしまった為でしたね。

朝ぼらけ 宇治の川霧たえだえに あらはれわたる 瀬々の網代木

早朝の宇治川を覆う深い霧が夜明けと共に晴れてきて、川に仕掛けられた網代木の留め杭がに川面に少しづつ表れてくる叙景歌、見事な心洗われる歌。六十三番歌の藤原道雅は道を破り世間から「荒三位」と呼ばれたが、六十四番の定頼は分をわきまえ、このような情緒豊かな作を詠み生涯を過したのです。

六十五番歌 相模 さがみ

父は源頼光とも言われる、「相模の守大江公資の妻であつたので「相模」と呼ばれる、五十代で夫を思い出しながら詠んだという。

恨みわび 干さぬ袖だに あるものを 恋に朽ちなむ 名こそ惜しけれ

夫の大江公資が浮き者で、女官にも手を出すので、このままでは、官位の任を解かれてしまうと、心配しながら詠んだ、宮中では和泉式部らと多くの歌で活躍した。

浮き夫の行末あわれ、縁ある相手大事に
せぬま 剛